

令和 5 年度 柏市地域包括支援センター 事業実績について

令和 6 年 7 月 1 1 日
柏市地域包括支援課

目次

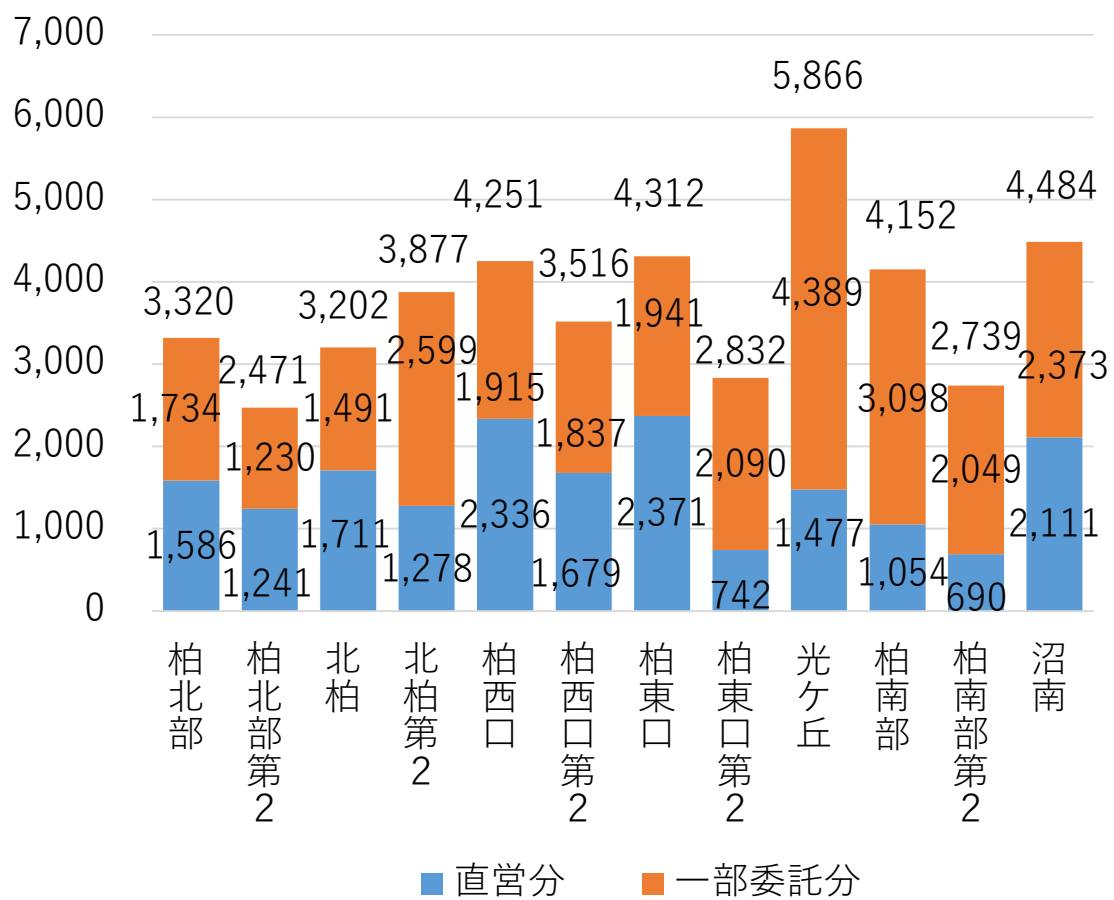
(1) 介護予防・生活支援サービス事業	・ ・ ・	スライド 1
(2) 一般介護予防事業	・ ・ ・	スライド 2 ～ 3
(3) 総合相談支援業務	・ ・ ・	スライド 4 ～ 6
(4) 権利擁護業務	・ ・ ・	スライド 7 ～ 8
(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	・ ・ ・	スライド 9 ～ 1 2
(6) 認知症総合支援事業（認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む）	・ ・ ・	スライド 1 3 ～ 1 5
(7) 地域ケア会議推進事業	・ ・ ・	スライド 1 6 ～ 1 7
令和 4 年度との比較	・ ・ ・	スライド 1 8
まとめ	・ ・ ・	スライド 1 9

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

ケアプラン作成件数（R6.3月末時点）

介護予防 ケアプラン件数	45,022 件
うち、居宅介護支援事業 所へ委託した件数 （一部委託）	26,746 件
委託率	59.4 %

センター別 作成件数（R6.3月末時点）



⇒要支援者及び事業対象者のケアプラン作成数は前年度より増加しており、委託率は59.4%である（R5.3月末時点は42,633件で委託率60.3%）。

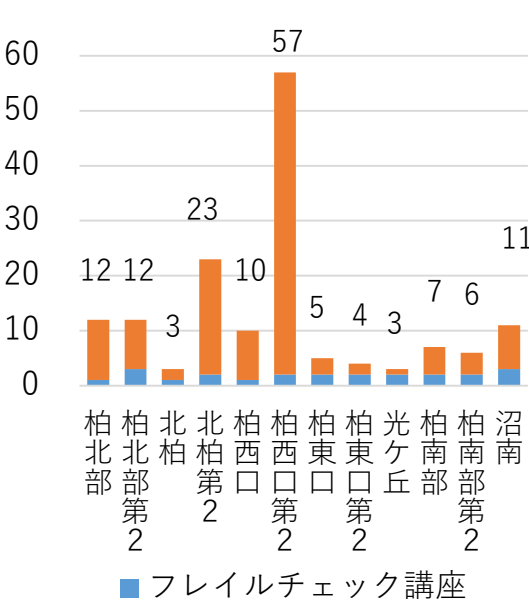
(2) 一般介護予防事業①

ア 介護予防普及啓発事業

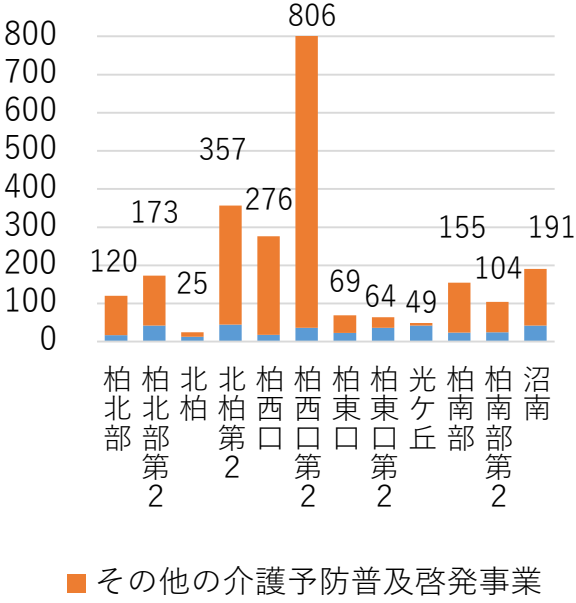
(ア) 講座等開催状況

フレイルチェック講座	開催回数	23 回
	参加人数 (延べ)	363 人
その他の 介護予防普及啓発事業	開催回数	130 回
	参加人数 (延べ)	2,026 人

センター別 開催回数



センター別 参加人数 (延べ)

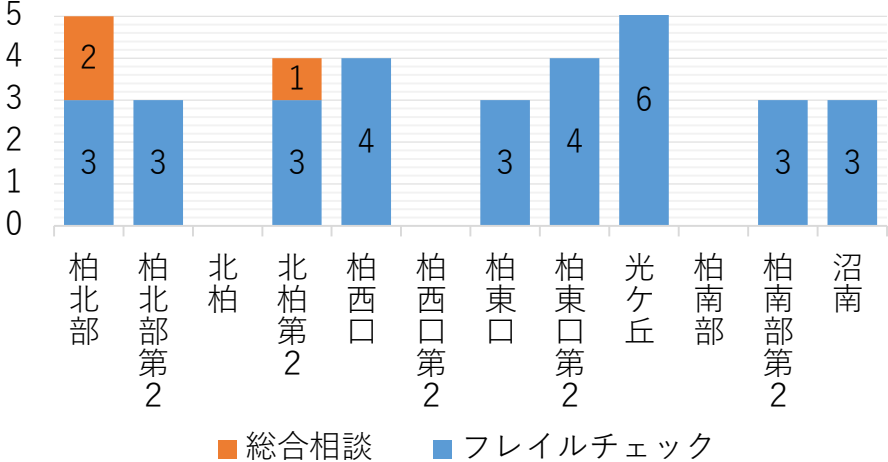


(イ) フレイル予防応援プログラム

総合相談	フレイルチェック
3	32

⇒フレイルチェックや総合相談から抽出したフレイルのハイリスク者に対し、フレイル予防応援プログラムとして、栄養士・リハビリ職等の専門職が連携して個別支援を行った。

フレイル予防応援プログラムでの支援者数



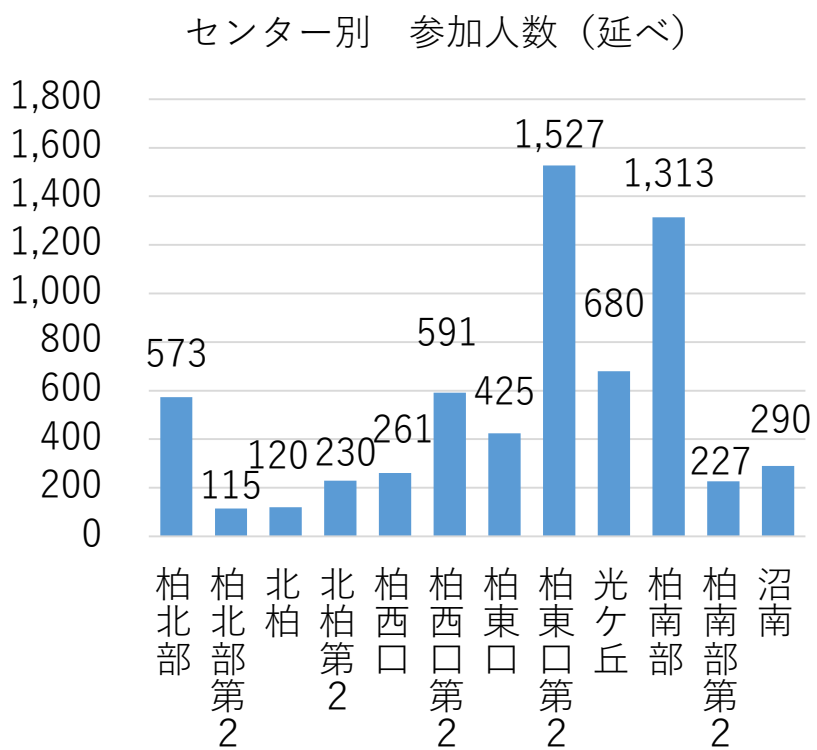
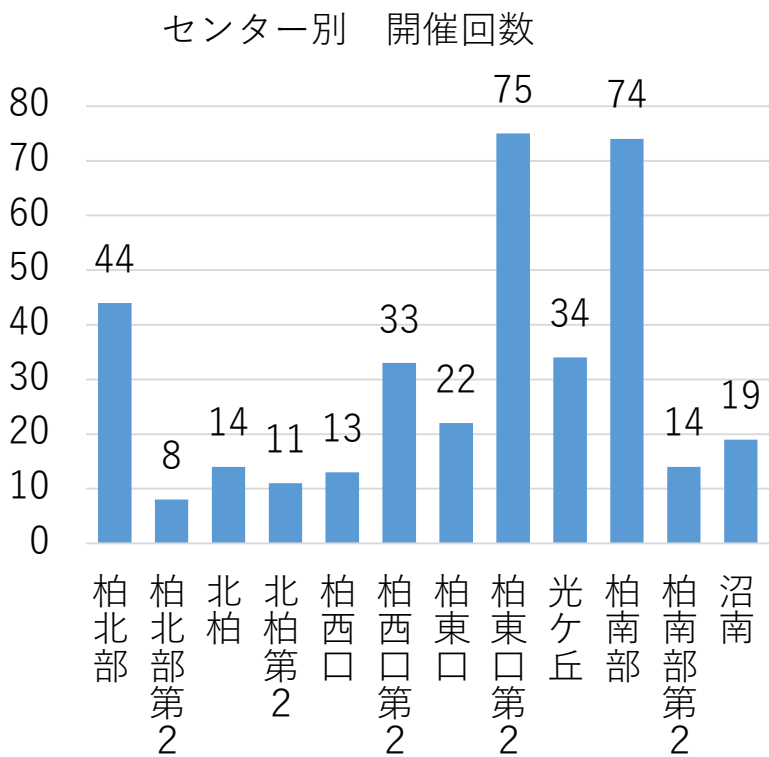
(2) 一般介護予防事業②

イ サークルやサロン等の地域の団体への支援

開催回数	参加人数（延べ）
361 回	6,352 人

⇒地域サロンや通いの場において、住民主体の活動を支援した。

また、フレイル予防の自主サークルの立ち上げや新規参加者の受け入れにつなげる等の支援を行った。

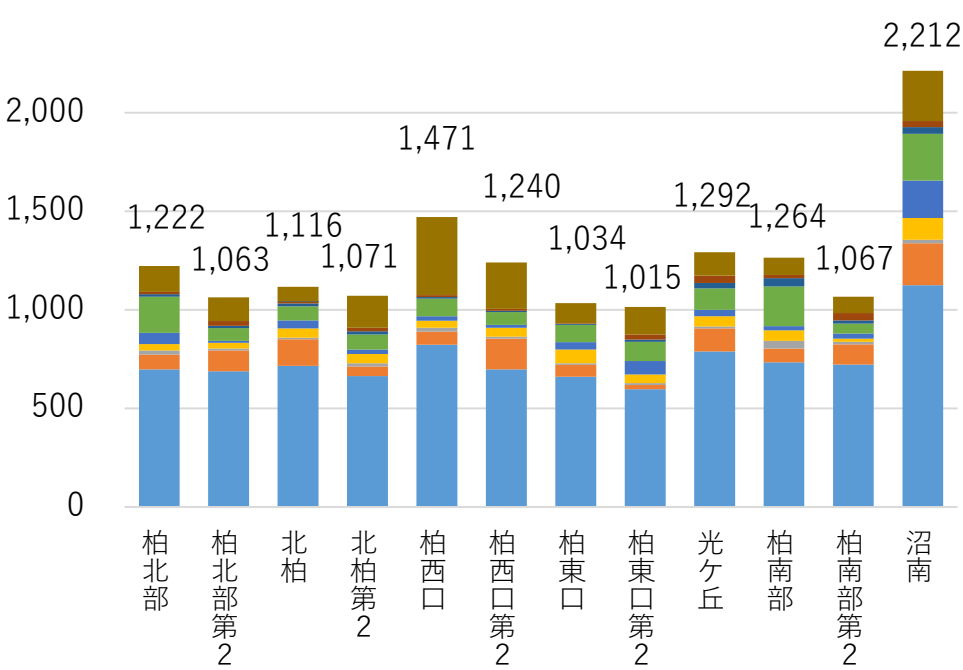


(3) 総合相談支援業務①

総合相談件数

実件数	13,890 件
延べ件数	15,067件

⇒相談延べ件数は前年度と比較し、増加している。
(R4は実件数13,961件、延べ件数15,504件)



- その他
- 生活支援体制整備事業
- 認知症に関する事業
- 権利擁護業務
- 指定介護予防支援事業及び第1号介護予防支援事業
- 介護者の離職防止に関する相談
- 在宅医療・介護連携推進事業
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
- 一般介護予防事業
- 介護保険や高齢者福祉制度・サービス

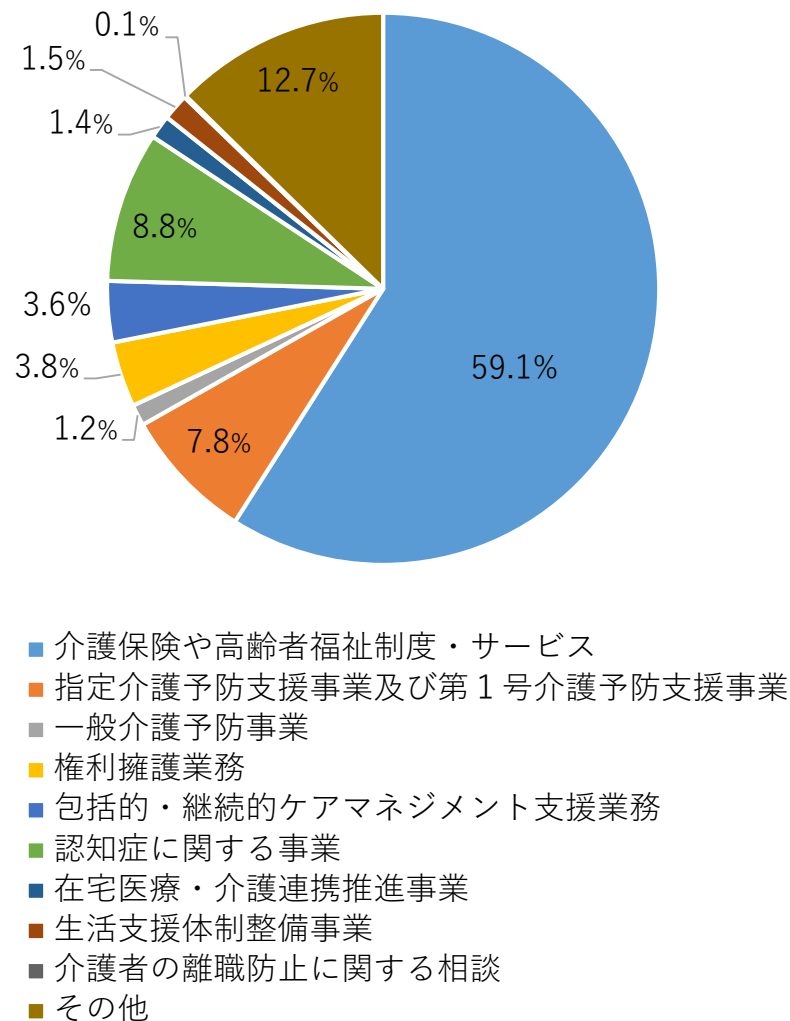
<参考：日常生活圏域データ（令和5年9月30日現在）>

内容	柏北部	柏北部第2	北柏	北柏第2	柏西口	柏西口第2	柏東口	柏東口第2	光ヶ丘	柏南部	柏南部第2	沼南	計
65歳以上人口	9,025人	7,321人	7,555人	9,464人	8,381人	7,625人	9,968人	7,621人	11,328人	12,447人	7,416人	14,916人	113,067人
高齢化率	19.2%	25.6%	31.4%	29.7%	25.8%	20.8%	23.3%	23.3%	27.9%	30.6%	30.4%	28.0%	26.0%
要介護認定率	14.7%	15.2%	17.6%	15.7%	19.9%	16.7%	16.7%	16.9%	18.4%	16.7%	17.8%	15.4%	17.2%

(3) 総合相談支援業務②

内容別 相談件数

介護保険や高齢者福祉制度・サービス	8,909件
指定介護予防支援事業及び第1号介護予防支援	1,172件
一般介護予防事業	187件
権利擁護業務	578件
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	541件
認知症に関する事業	1,333件
在宅医療・介護連携推進事業	208件
生活支援体制整備事業	233件
介護者の離職防止に関する相談	1件
その他	1,905件
計	15,067件

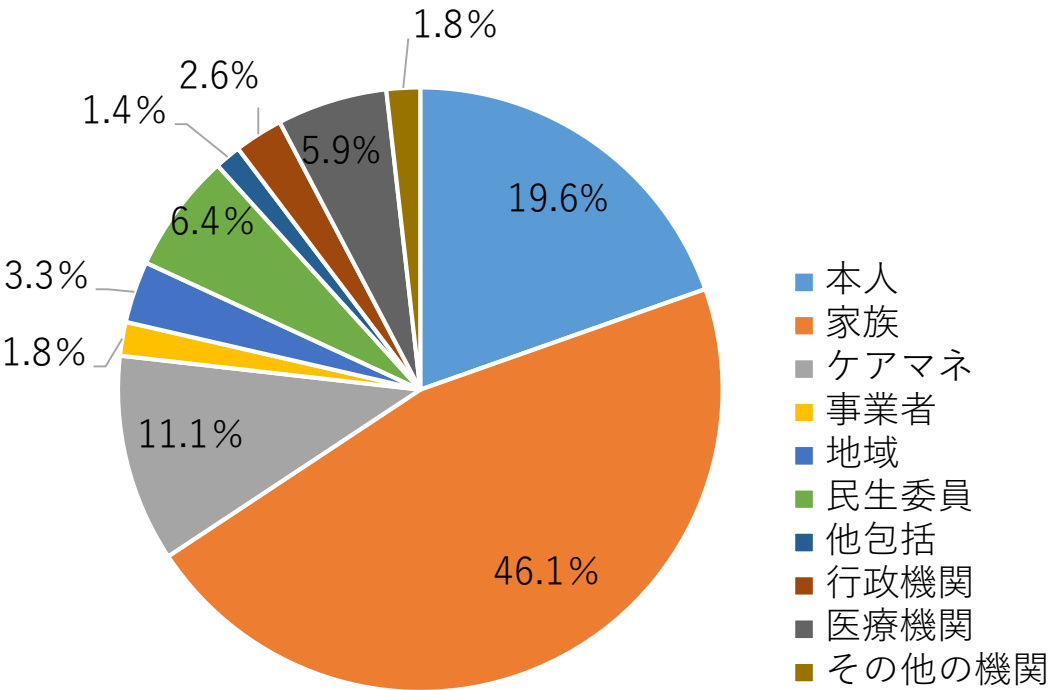


⇒介護保険や高齢者福祉制度・サービスに関する相談が8,909件（59.1％）で最も多く、認知症に関する事業に係る相談（1,333件、8.8％）と続いた。

(3) 総合相談支援業務③

相談者別 相談件数

相談者	延べ件数
本人	2,959件
家族	6,947件
ケアマネ	1,667件
事業者	268件
地域	503件
民生委員	967件
他包括	210件
行政機関	388件
医療機関	889件
その他の機関	269件
合計	15,067件



⇒家族からの相談が6,947件（46.1％）と最も多く、次いで本人（家族を伴っての相談を含む）からの相談が2,959件（19.6％）であった。
⇒前年度と比較し、ケアマネからの相談数が増えている。
（R4年度 :1,359件）

(4) 権利擁護業務①

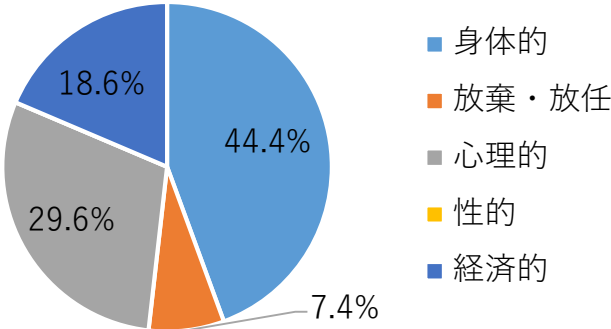
ア 高齢者虐待への対応（実件数）

（単位：件）

センター	通報件数	虐待として 対応した件数	虐待の形態（重複有）				
			身体的	放棄・放任	心理的	性的	経済的
柏北部	4	-	-	-	-	-	-
柏北部第2	7	5	2	-	2	-	4
北柏	10	1	1	-	-	-	-
北柏第2	8	1	-	1	1	-	-
柏西口	10	-	-	-	-	-	-
柏西口第2	11	3	2	-	1	-	1
柏東口	14	3	3	-	2	-	-
柏東口第2	7	-	-	-	-	-	-
光ヶ丘	9	-	-	-	-	-	-
柏南部	16	1	1	-	-	-	-
柏南部第2	3	2	2	-	1	-	-
沼南	7	3	1	1	1	-	-
計	106	19	12	2	8	0	5

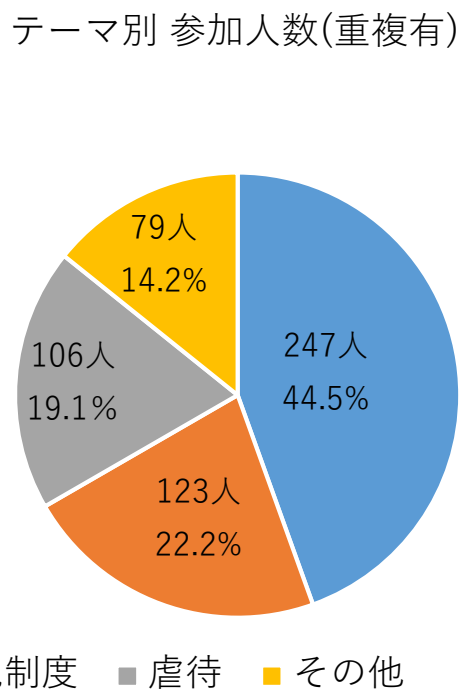
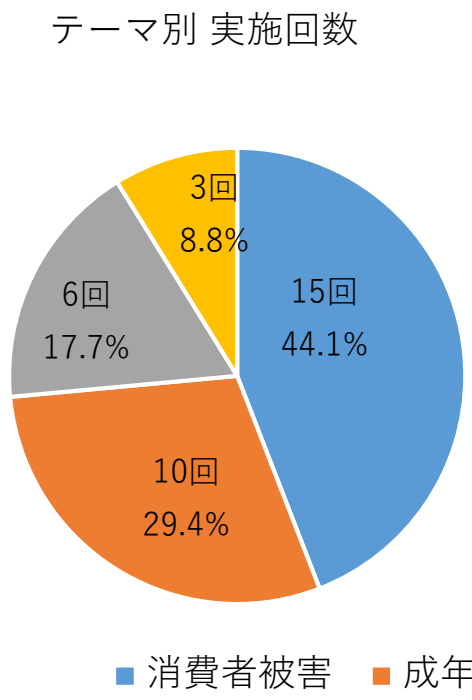
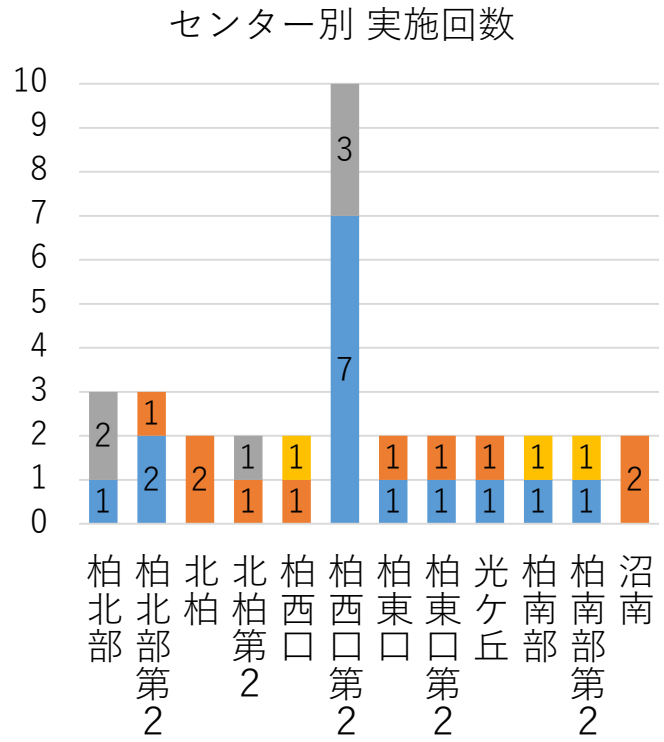
虐待の形態別割合（重複有）

⇒虐待疑いを含めて通報があった件数は106件で、そのうち、虐待として対応した件数は19件であった。
⇒虐待の形態としては、身体的虐待が12件（44.4％）と最も多く、次いで心理的虐待が8件（29.6％）であった。



(4) 権利擁護業務②

イ 権利擁護講座



■ 消費者被害 ■ 成年後見制度 ■ 虐待 ■ その他

※同日に複数のテーマを開催することもあるため、参加人数の重複あり

- ⇒開催回数は、消費者被害に関する講座が15回（44.1%）と最も多かった。
- ⇒参加人数も消費者被害が最も多く247人（44.5%）で、次いで成年後見制度が123人（22.2%）であった。
- ⇒ その他としては、「終活」をテーマとするものが多かった。

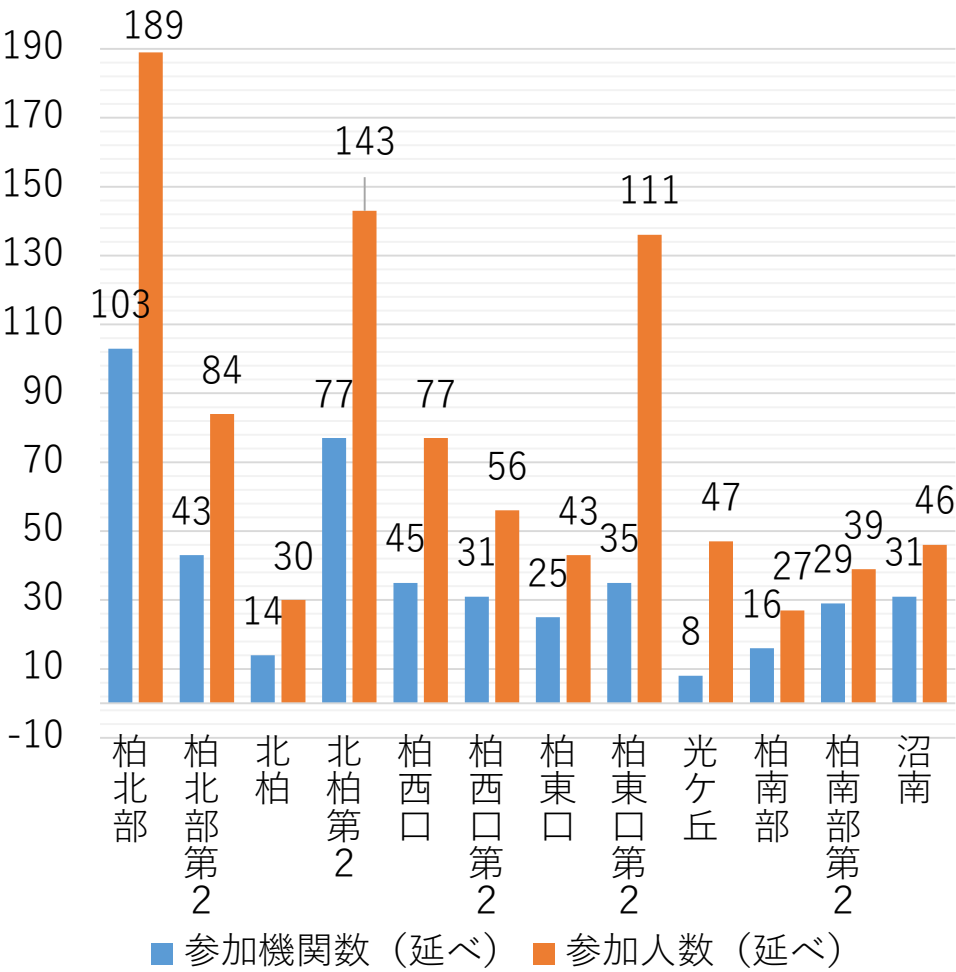
(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務①

ア 地区別研修 (単位：回，機関，人)

センター	開催回数	参加機関数(延べ)	参加人数(延べ)
柏北部	7	103	189
柏北部第2	3	43	84
北柏	2	14	30
北柏第2	6	77	143
柏西口	5※	45	77
柏西口第2	5※	31	56
柏東口	3	25	43
柏東口第2	5	35	111
光ヶ丘	1	8	47
柏南部	2	16	27
柏南部第2	3	29	39
沼南	2	31	46
合計	44	457	892

※合同開催

センター別 参加機関数及び参加人数

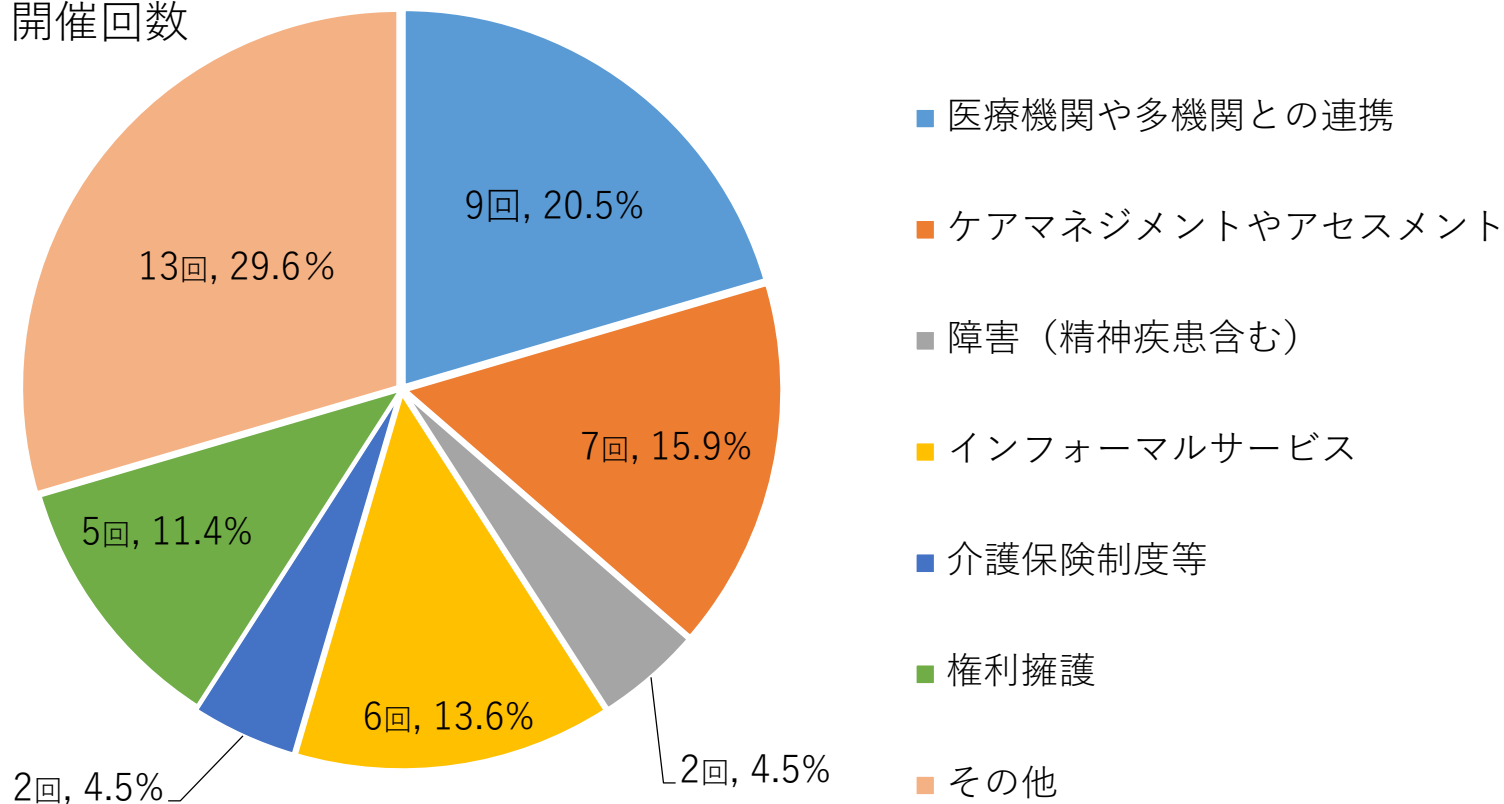


⇒ケアマネジャー相互の情報交換やネットワークの構築，ケアマネジャーの資質向上，制度や施策などに関する情報提供を行う機会として，各センターで研修を実施した。

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務②

ア 地区別研修

テーマ別 開催回数



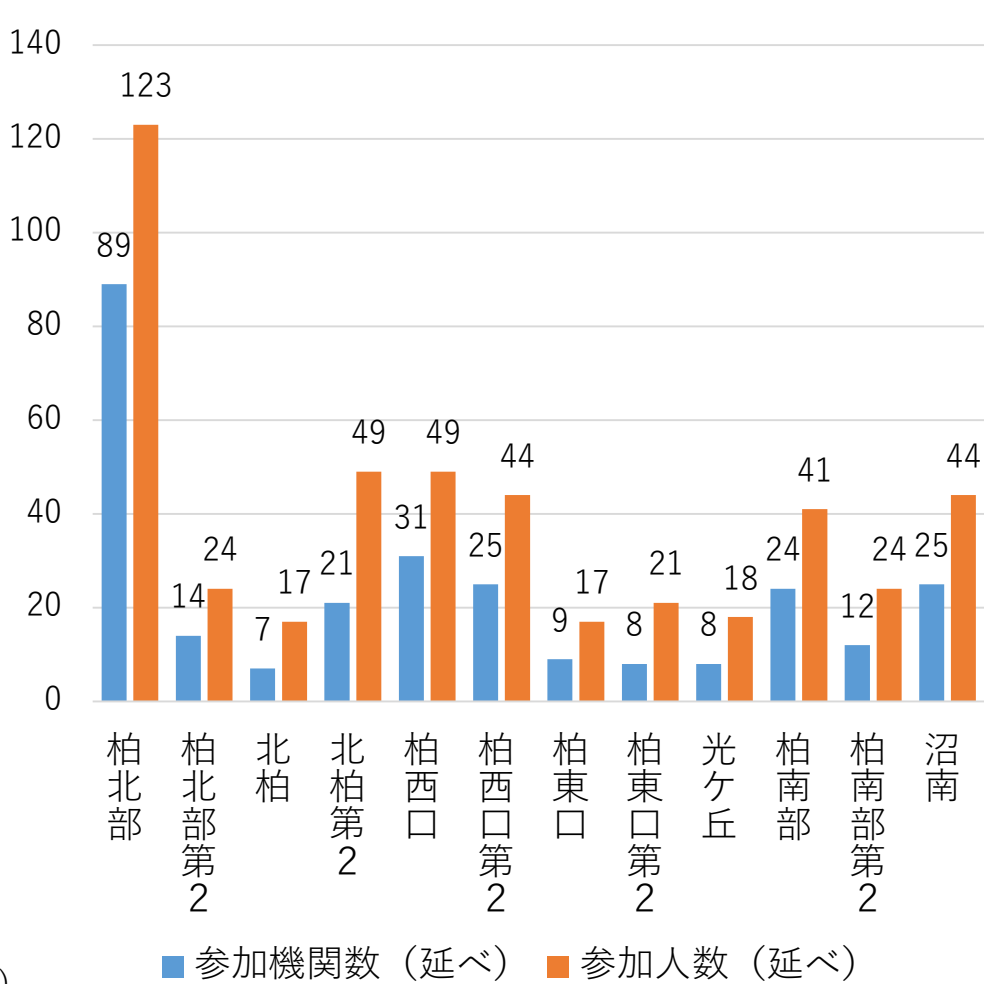
⇒研修テーマは、医療機関や多機関との連携に関することが9回（20.5%）と最も多く、次に権利擁護やケアマネジメントやアセスメントが7回（15.9%）であった。
⇒その他のテーマとしては、ハラスメント対応や身体疾患に関するもの等であった。

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務③

イ 事例検討会 (単位：回，機関，人)

センター	開催回数	参加機関数 (延べ)	参加人数 (延べ)
柏北部	9	89	123
柏北部第 2	1	14	24
北柏	1	7	17
北柏第 2	12	21	49
柏西口	3※	31	49
柏西口第 2	3※	25	44
柏東口	1	9	17
柏東口第 2	1	8	21
光ヶ丘	1	8	18
柏南部	2※	24	41
柏南部第 2	2※	12	24
沼南	5	25	44
合計	41	273	471

センター別 参加機関数及び参加人数



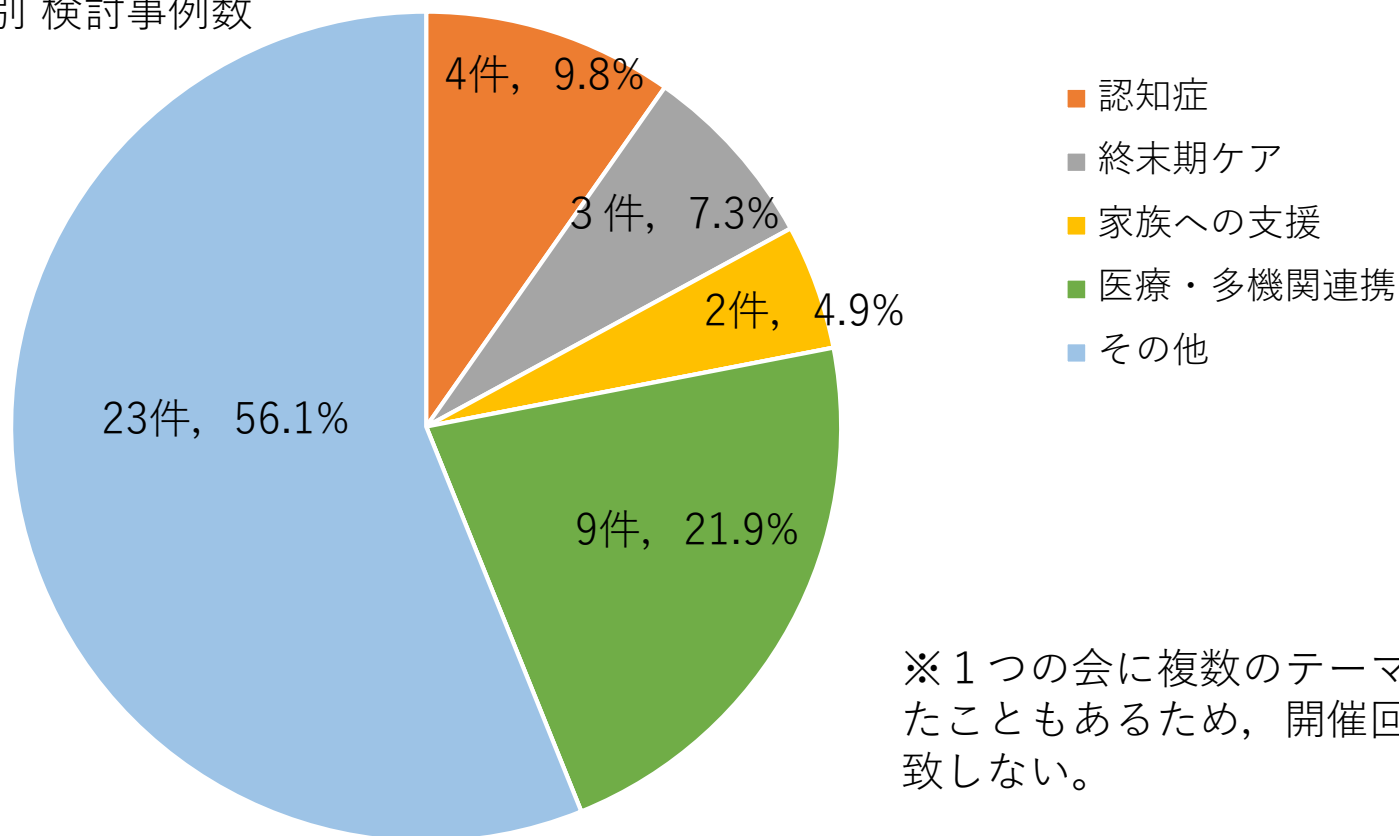
※合同開催(柏西口と柏西口第 2， 柏南部と柏南部第 2)

⇒ケアマネジャーの資質向上のため，センターの専門職や医療・介護・福祉等の関係機関と連携した事例検討を各センターで実施した。

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務④

イ 事例検討会

テーマ別 検討事例数



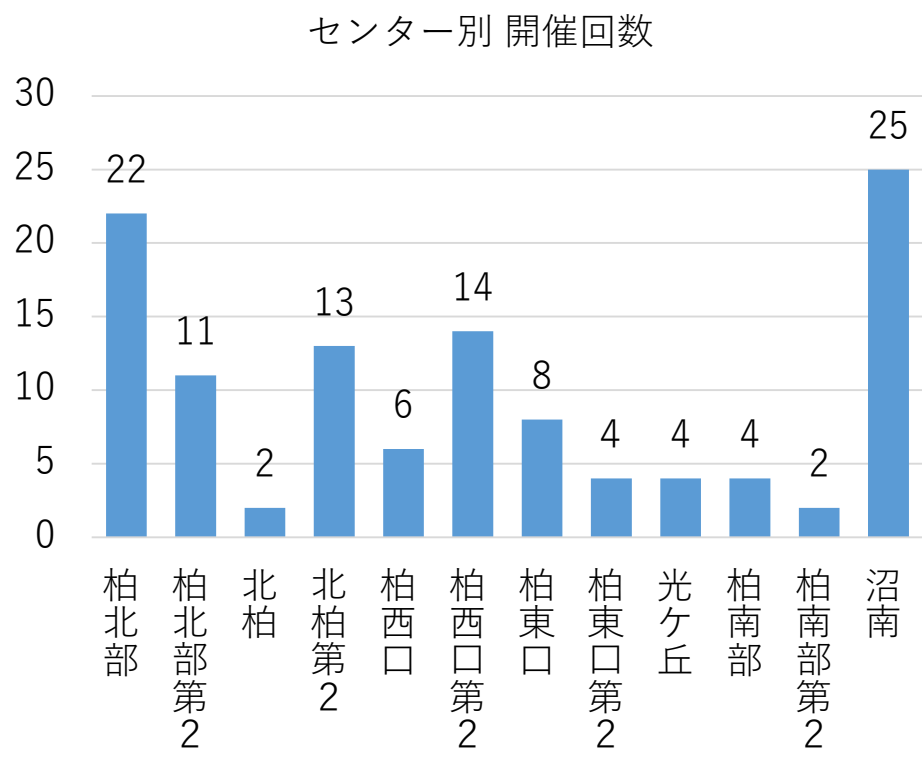
⇒検討事例のテーマは、医療・多機関連携が9件（21.9%）と最も多く、次に認知症が4件（9.8%）であった。

⇒その他のテーマとしては、インフォーマルサービスに関することやサービス導入が困難な事例への対応等について検討した。

(6) 認知症総合支援事業①

(認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む)

ア 認知症サポーター養成講座



参加者の区分	人数
老人クラブ、サロン等	59人
自治会、町内会等	137人
ボランティア組織	28人
介護者団体	0人
その他一般住民ほか	580人
企業・職域団体	281人
小学校	390人
中学校	152人
高校	1,153人
大学	10人
計	2,790人

⇒各センターで、個人が受講できる認知症サポーターオープン講座を実施した。
そのほか、講座の依頼があった団体への講師派遣やセンターから地域団体へ講座開催を働きかけるなど、認知症の普及啓発を実施した。
⇒参加者の区分はクラス単位で実施する小学校や高校等の学校が多くなっている。

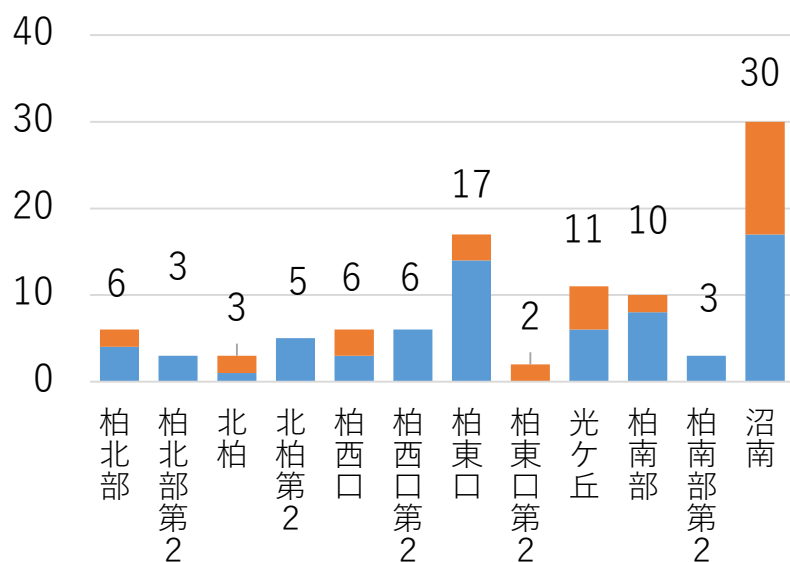
(6) 認知症総合支援事業②

(認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む)

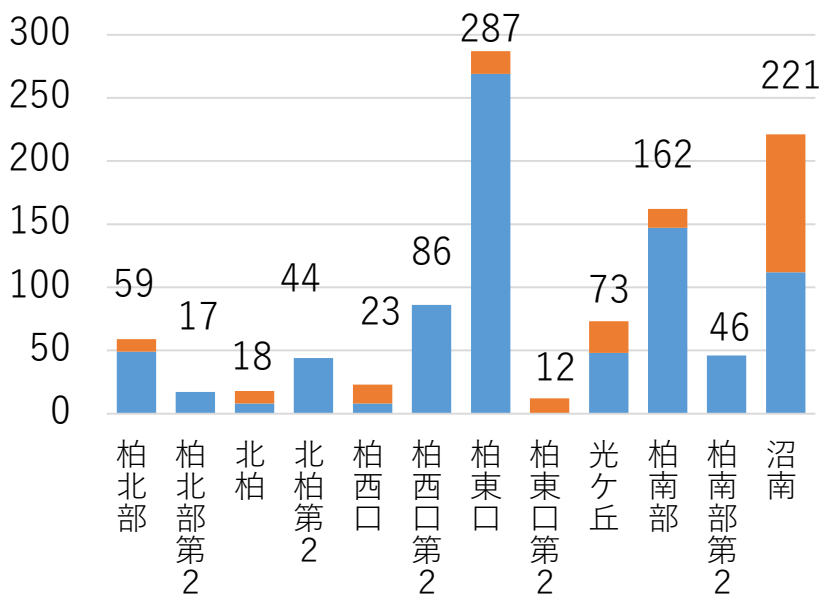
イ 認知症カフェ（かしわオレンジホッとカフェ）と認知症介護者交流会

	実施回数	参加人数
認知症カフェ	70回	834人
認知症介護者交流会	32回	214人

センター別 実施回数



センター別 参加人数



■ 認知症カフェ ■ 認知症介護者交流会

⇒カフェや交流会を開催し、交流の機会を通じて、認知症の方やその家族に対する支援を行った。

(6) 認知症総合支援事業③

(認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む)

ウ かしわオレンジフレンズ交流会

(単位：人，回)

センター	かしわオレンジ フレンズ登録者数 (R5年度末)	登録者のうち何ら かの活動をした者 (R5年度末)	かしわオレンジフレンズ交流会	
			開催回数	参加人数
柏北部	52	43	32	311
柏北部第2	24	16	1	5
北柏	18	11	1	3
北柏第2	16	15	1	5
柏西口	36	20	2	22
柏西口2	32	16	1	14
柏東口	31	26	2	30
柏東口第2	19	7	1	7
光ヶ丘	44	29	1	16
柏南部	18	17	3	32
柏南部第2	24	10	4	26
沼南	58	37	1	26
計	372	247	50	497

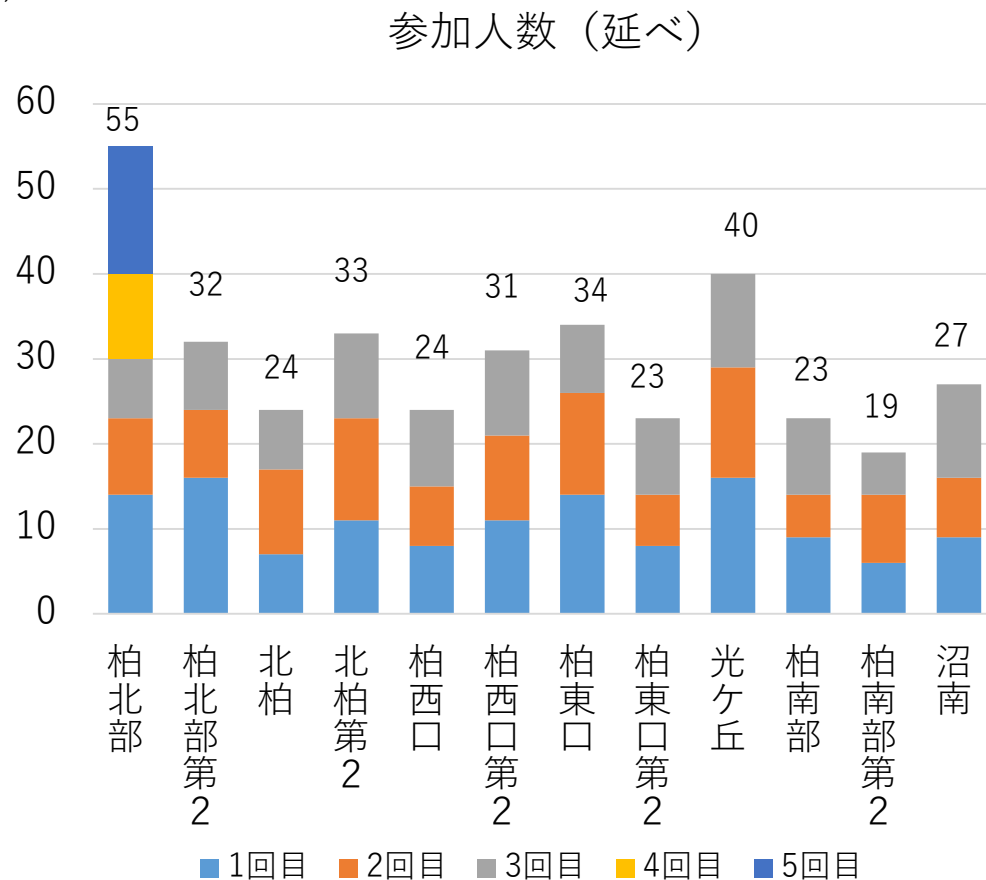
⇒かしわオレンジフレンズは認知症カフェ等の認知症に関する事業でボランティアとして活動しているかた。登録者の6割以上が実際に活動を行った。

交流会では認知症に関する講話や活動に向けての話し合い等を行ったほか、認知症の方とのウォーキングを交流の場とした。

(7) 地域ケア会議推進事業①

ア 地域ケア個別会議 (単位：回，人)

センター	開催回数	参加人数
柏北部	5	55
柏北部第2	3	32
北柏	3	24
北柏第2	3	33
柏西口	3	24
柏西口第2	3	31
柏東口	3	34
柏東口第2	3	23
光ヶ丘	3	40
柏南部	3	23
柏南部第2	3	19
沼南	3	27
計	38	365



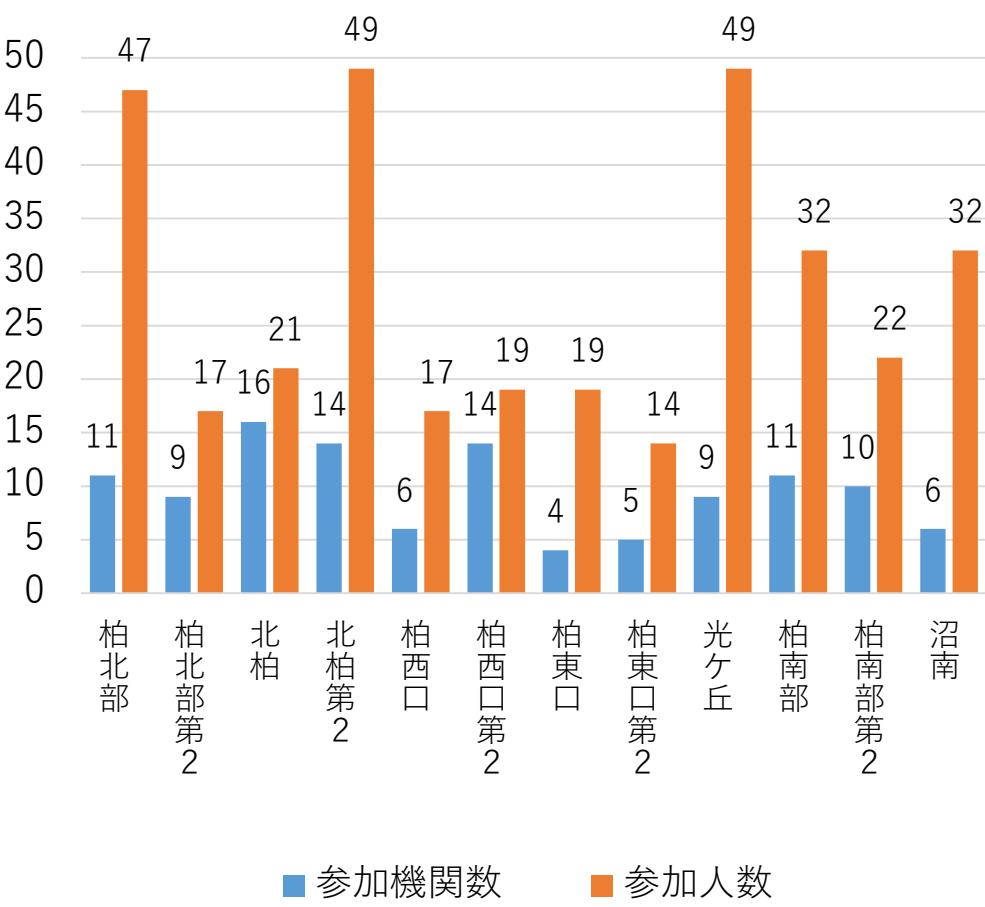
⇒専門職や地域の関係者等と事例の課題解決に向けた検討を行うことにより、ケアの質を高め、その人のニーズの充足を目指すとともに、検討のなかで参加者と地域の課題等の共有を行った。

(7) 地域ケア会議推進事業③

イ 地域ケア推進圏域会議 (単位：機関，人)

センター	参加機関数 (延べ)	参加人数 (延べ)
柏北部	11	47
柏北部第 2	9	17
北柏	16	21
北柏第 2	14	49
柏西口	6	17
柏西口第 2	14	19
柏東口	4	19
柏東口第 2	5	14
光ヶ丘	9	49
柏南部	11	32
柏南部第 2	10	22
沼南	6	32
計	115	338

参加機関数及び参加人数（延べ）



⇒個別事例の検討や総合相談支援のなかで明らかとなった地域の課題について、参加者で共有し、ネットワーク構築や地域資源の開発に向けた検討を行った。

令和4年度との比較

事業名	項目	R5年度	R4年度	前年度比
介護予防・生活支援サービス事業	ケアプラン作成数	45,022件	42,633件	1.06
	うち居宅介護支援事業所へ委託した件数	26,746件	25,711件	1.04
一般介護予防事業	フレイルチェック講座 参加者数	363人	308人	1.18
	サロン等の地域の団体への支援 参加者数	6,352人	7,011人	0.91
総合相談支援業務	相談件数（延べ）	15,067件	15,504件	0.97
	うち土曜日の相談件数（延べ）	1,518件	1,545件	0.98
権利擁護業務	虐待対応件数	19件	28件	0.68
	権利擁護講座 参加者数	491人	650人	0.76
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	地区別研修 参加者数	892人	455人	1.96
	事例検討会 参加者数	471人	529人	0.89
認知症総合支援事業 （認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む）	認知症サポーター養成講座 参加者数	2,790人	1,892人	1.47
	認知症カフェ/認知症介護者交流会 参加者数	1,048人	881人	1.19
	かしわオレンジフレンズ交流会 参加者数	497人	411人	1.21
地域ケア会議推進事業	地域ケア個別会議 参加者数	365人	321人	1.14
	地域ケア推進圏域会議 参加者数	338人	255人	1.33

まとめ

- 高齢者人口の増加に合わせ、要支援者数も増加しており、介護予防ケアプランの作成数は毎年増加している。
- 地域ケア推進圏域会議の参加人数は令和4年度比約1.3倍増となっている。地域全体で課題解決に取り組む意識が高まっていると考えられる。
- センターへの相談内容としては介護保険や高齢者福祉制度が最も多いものの、その次に認知症に関することが多くなっている。認知症関連事業への参加者も増加していることから、地域での関心の高さが窺える。
- ケアマネジャー資質向上のための地区別研修は開催数、参加者数ともに、令和4年度比約2倍となっている。複合課題を持つ利用者が増える中、ケアマネジャーへの支援が重要となっている。
- 新型コロナウイルス感染症が5類に移行した影響で、フレイルチェック講座や認知症サポーター養成講座などの対面交流式の講座参加者数は順調に回復している。これは地域でのフレイル予防への取り組みが活性化しているものとみられる。